

# アカデミック・リンクの取り組みと 直面する諸問題

竹内 比呂也

千葉大学附属図書館長,  
アカデミック・リンク・センター長

2012.10.19

# 「アカデミック・リンク」とは

- 千葉大学が実践している図書館機能をベースにした新しい学習環境のコンセプト
- 研究開発機能を担う「アカデミック・リンク・センター」(附属図書館, 総合メディア基盤センター, 普遍教育センターが協力して設置)と実際にサービスを提供する「附属図書館」が中核となって推進
  - 2011年4月1日 センター設置
  - 2012年3月16日 図書館リニューアルオープン

## アカデミック・リンクによる千葉大学の教育改革

目的:「考える学生の創造」

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ学生の育成

### アカデミック・リンク

「学習とコンテンツの近接」による能動的学習の実現  
 コンテンツ構築・提供、情報基盤、人的支援、学生のニーズに  
 適した学習空間の統合・連携による学習・教育の革新

アクティブ・ラーニン  
グ・スペース

コンテンツ・ラボ

ティーチング・ハブ

千葉大学中期目標・計画<教育方法改善への取組、アクティブ・ラーニングの重視>

### 大学に対する社会的要請

- 知識基盤社会、学習社会における市民の育成
- 高等教育のグローバル化の中での質の維持・向上
- 職業人としての基礎能力、創造的人材の育成

「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日、中教審答申)

### 学生のニーズ

- 自由に使える学習スペース
- 文章作成力、ディスカッション能力、問題解決能力
- 英語によるコミュニケーション能力

「千葉大学の教育・研究に対する意識・満足度調査報告書」(平成21年度)

授業

「授業資料ナビ」

CONTENT

動画教材、授業映像

伝統的  
図書館  
蔵書

電子  
ジャーナル・e-  
books

誰でも  
使える  
Web上  
の資源

PLACE

教材・  
教科書の電子  
化

レファレンス  
デスク@  
AL

オフィス  
アワー  
@AL

ALSA-  
LS

CURAT  
OR(機関  
リポジ  
トリ)

SUPPORT

「1210あかりん  
アワー」

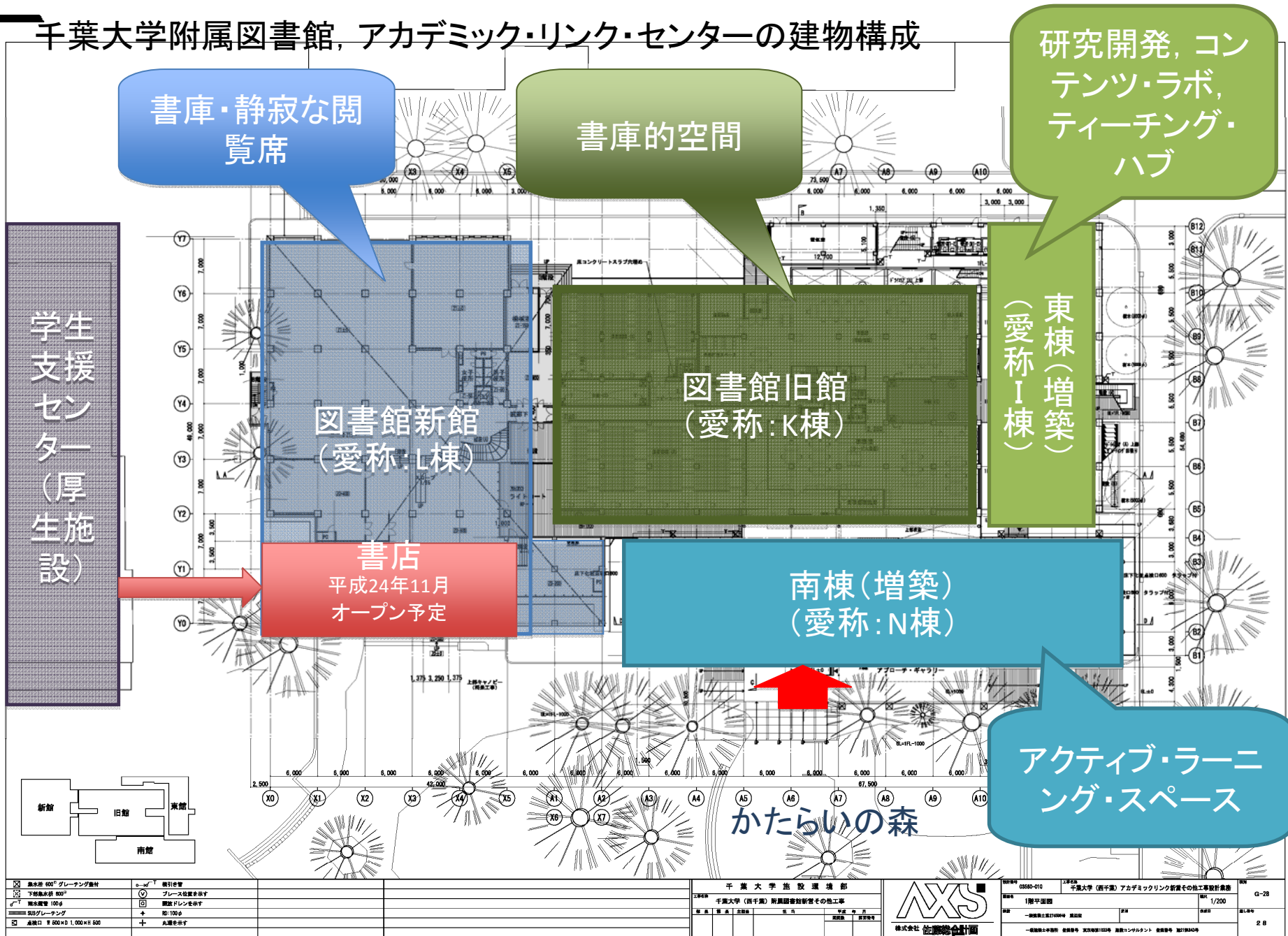
ブックツリー  
(見せる書棚)

「見る」  
「見られる」空間  
での活動

### 学生から見たアカデミック・リンク

「学び」に導く刺激にあふれた場所, 学びの基盤としてのコンテンツ, 人的サポート

# 千葉大学附属図書館, アカデミック・リンク・センターの建物構成



書庫・静寂な閲覧席

書庫的空間

研究開発, コンテンツ・ラボ, ティーチング・ハブ

学生支援センター (厚生施設)

図書館新館 (愛称:L棟)

図書館旧館 (愛称:K棟)

東棟 (増築) (愛称:I棟)

書店  
平成24年11月  
オープン予定

南棟 (増築) (愛称:N棟)

アクティブ・ラーニング・スペース

⊠	最大径 600φ グレーティング	○	縦引窓
⊞	下排水径 80φ	⊗	フリース位置を示す
⊟	雨水径 100φ	⊠	開口ドレンを示す
⊡	200φ グレーティング	+	100φ
⊞	直径 1,000φ	+	丸蓋を示す

千葉大学 施設課	千葉大学 施設課	千葉大学 施設課	千葉大学 施設課
千葉大学 (西千葉) 附属図書館新館その他工事			
図 1	1/200		

千葉大学 施設課	千葉大学 施設課	千葉大学 施設課	千葉大学 施設課
千葉大学 (西千葉) 附属図書館新館その他工事			
図 1	1/200		



0350-010	千葉大学 (西千葉) アカデミック・リンク・新館その他工事設計業務	G-28
1階平面図	1/200	
2024.10.14		
28		

# 空間の特徴

- 開放性, 透明性の高い空間(「見る」, 「見られる」環境)
- 機能分化(静寂空間／討議空間)
- 利用における自由度が高い(N棟:机, 椅子, ホワイトボードを自由に動かしてよい)

# アクティブ・ラーニング・スペース



Academic Link

Chiba University  
Academic Link Center

# 1210あかりんアワー (プレゼンテーション・スペース)





# コンテンツの提供の特徴

- 学生が利用したいときに、電子媒体でも印刷媒体でも迅速に入手できるようにする。図書館蔵書にこだわらず、購入も一つの選択肢として考える。教材の作成支援も視野に入れる。
- コンテンツとして以下のようなものを想定
  - 1) 公刊された出版物に代表される著作物
  - 2) 著作物の一部(あるいは全部)を再パッケージ化した教材(コースパック)
  - 3) 授業録画(授業中に提示される著作物がその中に含まれる)
  - 4) 著作物の一部を利用して、教員が独自に作成した教材
  - 5) 完全にオリジナル作成された教材

## 学習コンテンツの提供

授業資料ナビゲータ(PathFinder)	教養展開科目
<b>教育・学校と社会</b> 月5 白川優治先生	
<b>キーワード： 教育と社会 教育社会学 教育問題 教育政策</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 一実際に利用した資料にはチェックをしましょう。	
<b>Web</b> 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。	
<input type="checkbox"/> 文部科学省 <a href="http://www.mext.go.jp/">http://www.mext.go.jp/</a> 一 教育全般についての情報があります。白書、統計等へのリンクもあります。	
<input type="checkbox"/> 読売新聞 教育ページ <a href="http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/">http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/</a> 一 以下にあげる新聞のページでは、教育問題の過去、また最新の情報を得られます。また、図書館HPのヨミダス（学内のみ）から、キーワードで検索してみましょう。1986年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。	
<input type="checkbox"/> 朝日新聞 教育ページ <a href="http://www.asahi.com/edu/">http://www.asahi.com/edu/</a> 一 この他にも、図書館HPの読蔵Ⅱ（学内のみ）から、キーワードで検索してみましょう。1986年以降のデータを検索したり、全文が読めるものもあります。	
<input type="checkbox"/> 毎日新聞 子育て・教育ページ <a href="http://mainichi.jp/life/edu/">http://mainichi.jp/life/edu/</a>	
<input type="checkbox"/> 産経新聞 教育ページ <a href="http://sankei.jp.msn.com/life/newslist/education-edc-n1.htm">http://sankei.jp.msn.com/life/newslist/education-edc-n1.htm</a>	
<b>図書</b> 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。教育学に関する図書は、 <b>分類番号</b> が「371」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのかの手にとってみましょう。 ＊のついている図書は、授業期間中（4月～8月）は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育の社会学：「常識」の問い方、見直し方</b> 』（有斐閣アルマ；Specialized）新版 岡谷剛彦【ほか】著 有斐閣 2010 一 現代日本の教育問題の焦点、「はじめ」『幼児教育』『ジェンダーと教育』『学歴社会』をとりあげています。実態の認識から、方法の特徴、理論・研究の動向まで学べます。 ＊【発注中】	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育社会学</b> 』（有斐閣ブックス）柴野昌山、菊池城司、竹内洋編有斐閣 1992 ＊【発注中】	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育学をつかむ</b> 』（Textbooks tsukamu）木村元、小玉重夫、船橋一男著 有斐閣 2009 一 教育学のエッセンスを解説した教育学入門です。 ＊【本館閲覧室3階 371/KY01】	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育社会の設計</b> 』（UP選書）矢野真和著 東京大学出版会 2001 一 学校・社会・家庭の相互関係を実証的に解明しています。 ＊【本館閲覧室3階 371.3/KY01】	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育学</b> 』（ヒューマニティーズ = Humanities）広田照幸著 岩波書店 2009 一 教育の思想や制度は、社会の大きな実験のなかで実容を遂げていますが、その中でいま教育学の何が組み換えられていくべきなのかを述べています。 ＊【本館閲覧室3階 371/KY01】	
<input type="checkbox"/> 『 <b>教育論議の作法：教育の日常を懐疑的に読み解く</b> 』広田照幸著 時事通信出版局 2011 ＊【発注中】	

授業資料ナビ  
（授業ごとの参考文献リスト・推薦書リスト）



教員の紹介図書の排架  
（「1210あかりんアワー」と連動）

# 人的サポートの特徴

- 学生，図書館員，教員によるハイブリッドな人的サポートをスタート。
  - 学生，図書館員，教員がどのような役割を担うべきか，試行錯誤的に追求
    - 「学習支援デスク」
    - 「レファレンス・デスク」
    - 「オフィスアワー@アカデミック・リンク」

# 分野別 学習相談

## @附属図書館N棟2階

### 学習支援デスク

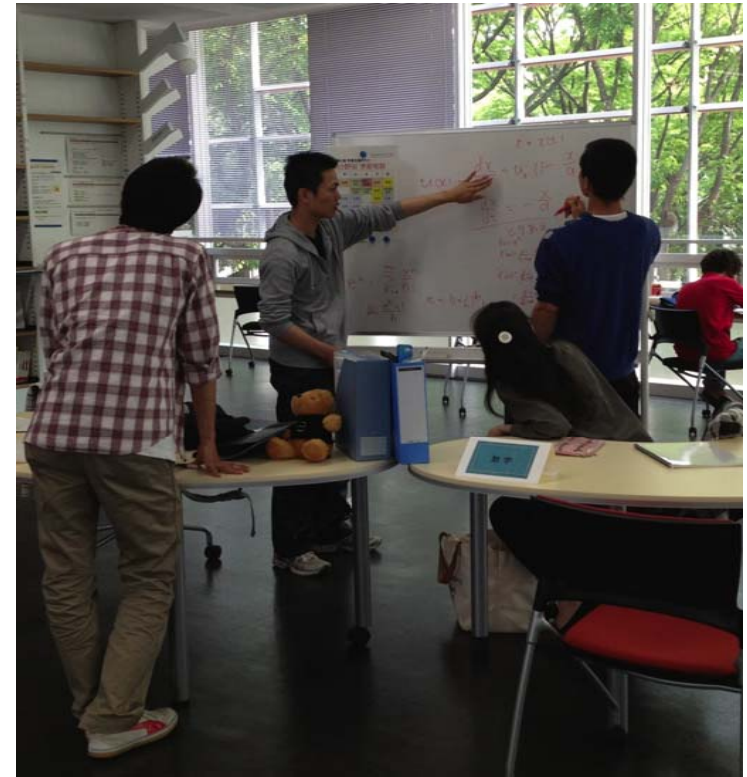
	月	火	水	木	金
11:30-13:00	物理	文系学習 相談	数学・ 物理	物理	数学
13:00-14:30	-	文系学習 相談	文系学習 相談	数学	文系学習 相談
14:30-16:00	化学	化学	-	数学	化学
16:00-17:30	化学	化学	-	物理	物理

※「文系学習相談」はレポートの書き方、大学での勉強の仕方などです。

各分野を専門とする千葉大学院生が  
**Academic Link Student Assistant (ALSA)**  
として学習を支援します。  
授業でよくわからないこと、  
図書館で先輩にきいてみよう！



問い合わせ先：アカデミック・リンク・センター (alsa-info@chiba-u.jp)



## 現時点での評価

- 供用開始から半年を経て、自由な学習空間、学習のためのコンテンツ、人的サポートを組み合わせるといふ新しい学習環境の枠組みはすでに出来上がりつつある
  - 多くの学生が集まり、活発に利用
  - 学内教職員が講師をつとめる「1210あかりんアワー」(昼休みの30分のショートセミナー)の定着
    - 「教員が研究の楽しさを語る」(火曜日)
    - 「千葉大人の意外な一面を知る」「働く大人が学生に勧める1冊の本」など様々なテーマ(金曜日)
  - スチューデント・アシスタント (Academic Link Student Assistant) による学習支援も定着しつつある。

## 顕在化した問題

- **空間**: ニーズに沿ったさらなる空間の整備
  - アクティブ・ラーニング・スペースの拡張
  - 静寂空間の整備
- **コンテンツ**の整備と提供: 図書電子化, 提供については想定以上に時間がかかっている。
  - 「授業資料ナビ」掲載資料(8科目)87タイトルについて, 電子化を先行依頼したが, 電子化できそうなのは18タイトル(20%)のみ。

## 顕在化した問題

- コンテンツを単に電子化するだけでは不十分
  - 教育, 学習における利用のための許諾が必要
    - コースパック構築のために連絡しても回答のない出版社もある
  - 個別に許諾を得るのは経験的に非現実的である。包括的な許諾が必要である。(あるいはそれを踏まえたビジネスモデル, 流通モデルの構築)
    - 高等教育機関がコンテンツのどのような利用を望み, 何が障壁となっているかを著作権者に伝え, 双方が納得できる形での合意を得る必要があるのではないか。

# 顕在化した問題

- 人的サポート:

- 現在はアカデミック・リンク・センターに所属する教員と図書館員が協力して、教育、学習と関わる様々なプロジェクトを立案し、実施している。
- 業務化した場合の担い手は？
  - 従来の事務職員として位置づけるのはその業務内容から言っても無理がある。
  - 教員として位置づけると教員としての評価（研究業績）に縛られる。
  - 中間的な専門職が制度的に必要ではないか。